

会社概要 (2012年3月31日現在)

商号 栗田工業株式会社
(Kurita Water Industries Ltd.)
本社所在地 東京都新宿区西新宿三丁目4番7号
10月1日以降 東京都中野区中野四丁目10番1号
中野セントラルパークウエスト
設立年月日 1949年7月13日
資本金 134億5,075万円
従業員数 1,521名(連結4,555名)
ホームページアドレス <http://www.kurita.co.jp/>
お問合わせ先 経営企画室 企画部 広報課
TEL.03-3347-3250
10月1日以降 TEL.03-6743-5007

株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
定時株主総会 6月
利益配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日
(中間配当を行う場合)
基準日 3月31日 (そのほか臨時に必要があるときに
は、あらかじめ公告いたします。)
公告掲載新聞 日本経済新聞
株主名簿管理人および
特別口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
(電話照会先) 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
フリーダイヤル 0120-782-031
(受付時間:平日9:00～17:00)
(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社証券代行部
同取次窓口 三井住友信託銀行株式会社全国各支店

諸手続きお問合わせ先 (住所変更、単元未満株式の買取請求、未払配当金の照会など)

- ・証券会社の口座に記録された株式の場合
株主様の口座のある証券会社にお申しください。
ただし、未払配当金の照会については、三井住友信託銀行株式会社(株主名簿管理人)にお申しください。
- ・特別口座に記録された株式の場合
三井住友信託銀行株式会社(株主名簿管理人および特別口座管理機関)にお申し出ください。



この冊子は、適切に管理された森林由来のFSC®認証紙に、植物油インキを使用して印刷しています。



2013年3月期 第1四半期 2012.4.1 ~ 2012.6.30

クリタ株主通信



栗田工業株式会社

【証券コード: 6370】

社長ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、
厚くお礼申し上げます。

2013年3月期 第1四半期 (2012年4月1日～2012年6月30日)

の事業概況についてご報告申し上げます。



代表取締役社長

中井 稔之

2013年3月期 第1四半期の業績について

当社グループをとりまく市場環境は、国内においては東日本大震災からの復興が進む一方、円高や電力供給不安に伴い国内生産拠点の統廃合や海外移転が継続し、お客様の設備投資が減少するなど厳しいものとなりました。また海外においては、欧州債務危機の拡大とともに新興国の経済成長にも鈍化の傾向が見られ、先行きの不透明感が強まりました。

このような状況下、当社グループは、国内外でグループの連携を一層強化し、お客様の生産性向上や環境負荷低減といった課題の解決に貢献する提案営業を推進することにより、受注の確保に努めました。

当第1四半期における連結業績は、受注高が前年同期比5.2%減の44,516百万円となり、売上高が同5.3%増の40,273百万円となりました。利益につきましては、販売費及び一般管理費の増加の影響により営業利益が前年同期比8.7%減の4,345百万円、四半期純利益は特別利益に固定資産売却益を計上したことにより同17.3%増の3,510百万円となりました。

当期の取り組みについて

当社グループは、2012年4月より3カ年の新中期経営計画「TA-14 (Take Action 2014)」をスタートさせています。この計画においては、「薬品」「装置」「メンテナンス」という3つの機能をバランスよく併せ持つ当社グループの強みを活かし、ここから生まれる事業推進力を発揮しグローバルな成長を実現することを目指しています。また、事業を展開する国や地域のニーズに合致した商品やサービスの開発、新たなビジネスモデルの創出にも取り組んでまいります。

株主の皆様には、今後も一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

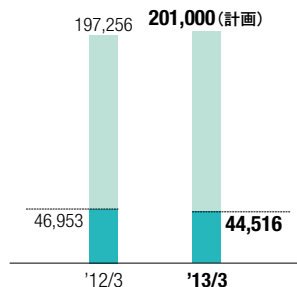
2012年8月

連結業績ハイライト

受注高

44,516 百万円

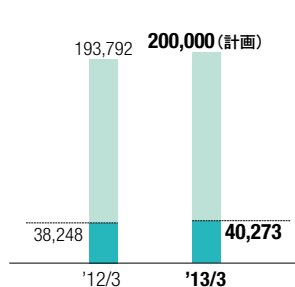
(百万円) 通期 第1四半期



売上高

40,273 百万円

(百万円) 通期 第1四半期



要約貸借対照表

(百万円)

2012年6月30日現在

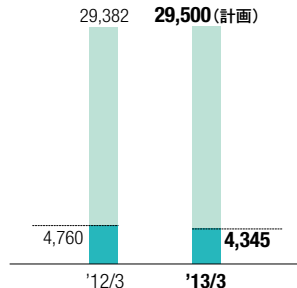
流動資産	145,305	(+ 320)	流動負債	35,902	(△ 6,456)
			固定負債	18,993	(+ 212)
固定資産	120,483	(△ 5,673)	純資産	210,892	(+ 890)
			総資産 265,788 (△ 5,353)		

※()内は2012年3月末と比較した増減を表示しています

営業利益

4,345 百万円

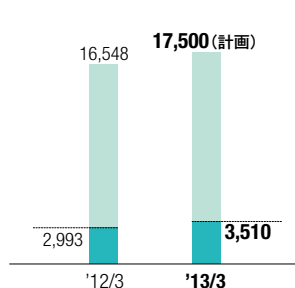
(百万円) 通期 第1四半期



四半期(当期)純利益

3,510 百万円

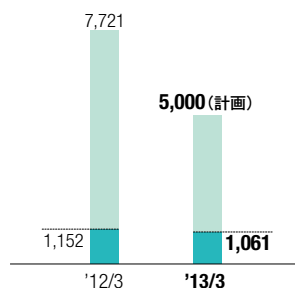
(百万円) 通期 第1四半期



設備投資額(有形固定資産)

1,061 百万円

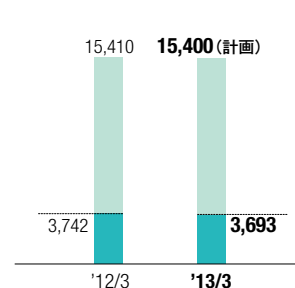
(百万円) 通期 第1四半期



減価償却費(有形固定資産)

3,693 百万円

(百万円) 通期 第1四半期



※グラフの金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています

※グラフの金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています

セグメント別業績ハイライト

水処理薬品事業

当事業においては、国内外でグループの連携を一層強化し、顧客の生産性向上や環境負荷低減などの課題解決に貢献する提案営業を推進しました。受注高および売上高については、国内では生産活動の回復に伴い、ボイラ薬品、紙・パルプ向けプロセス薬品が増加しましたが、冷却水薬品は減少しました。海外では、中国で増加が見られたものの、東南アジア、欧州で冷却水薬品などの主力商品が減少しました。

この結果、前年同期に比べ受注高は1.3%減、売上高は0.1%増、営業利益は8.3%減となりました。

水処理装置事業

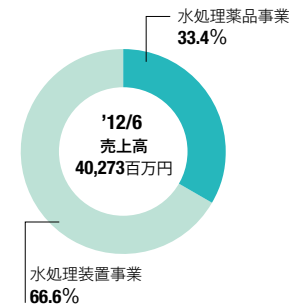
当事業においては、重点顧客に対する提案営業と海外での営業活動強化に取り組みました。受注高および売上高については、東アジアの半導体・液晶工場向けが増加しましたが、国内では震災復旧関連需要の一巡により、一般産業分野向け水処理装置やメンテナンス・サービスが減少しました。超純水供給事業の受注高および売上高は横ばい、電力分野向け水処理装置の売上高は工事の進捗に伴い増加しました。

この結果、前年同期に比べ受注高は6.9%減、売上高は8.1%増、営業利益は10.1%減となりました。

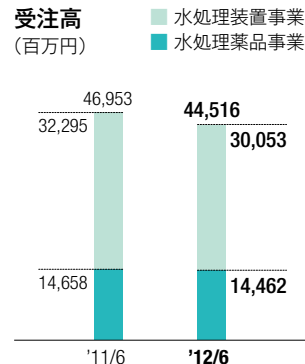


セグメント別業績の推移

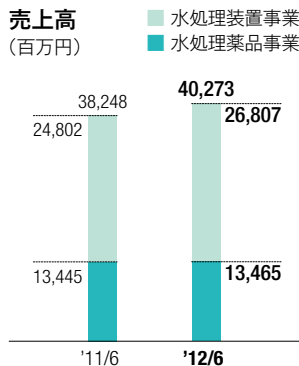
売上高構成比率



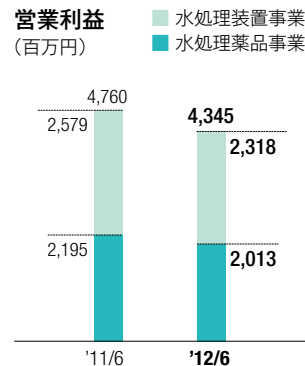
受注高 (百万円)



売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



※グラフの金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています
※営業利益合計は、「消去又は全社」を調整の上表示しています

詳細は当社ホームページでご確認ください

URL <http://www.kurita.jp/>

栗田工業 IR

検索

※Yahoo! JapanやGoogle™などの検索サイトからアクセスすることができます



特集は裏面に掲載しています

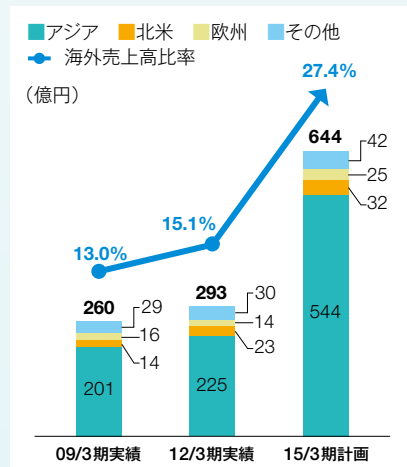
特集 新中期経営計画「TA-14」重点施策：海外事業の飛躍的拡大

2012年4月からスタートした3カ年の新中期経営計画「TA-14(Take Action 2014)」では、クリタグループが持つ総合力を発揮し、海外における飛躍的かつ持続的な事業の拡大を図ります。

海外事業の拡大目標

「TA-14」計画においてクリタグループは、この計画の最終年度にあたる2015年3月期の海外売上高を2012年3月期の293億円から644億円に、連結売上高に占める海外売上高比率を同15.1%から27.4%に高めることを目標としました。

海外売上高・海外売上高比率推移



中国、東南アジアといった経済成長が続く地域をはじめ、電子産業が集積する東アジア、さらに市場規模の大きな欧米などをターゲットとして事業拡大を目指していきます。

成長を期待する分野と事業基盤の強化

クリタグループは、半導体、液晶、有機ELなどのメーカーが集積している東アジアにおいて、超純水製造装置や排水回収装置といった水処理装置でトップシェアを有しています。これに加えて近年では、半導体製造プロセスの生産性向上に貢献する電解硫酸製造装置もお客様から高い評価をいただいております。今後はメンテナンスも含めてさらなるシェアの拡大を図っていきます。

またクリタは、水不足を背景に水の回収・再利用や海水淡水化に対する需要が強い中国においても事業の拡大に注力しています。クリタは、排水回収装置の供給はもちろんのこと、装置で使用されるRO(逆浸透)膜処理向け水処理薬品の商品ラインアップを充実させています。飲料水に関する国際的な安全衛生規格である



電解硫酸製造装置



RO (逆浸透) 膜装置

NSF*1 認証を取得したスライム*2
コントロール剤を含め、さまざま
な商品を提供することにより、お
客様の装置の安定稼働を実現し
ていきます。さらに、排水を回収

し冷却水として再利用している工場において、冷却水が循環
することにより機器や配管で発生する腐食*3・スケール*4・ス
ライムなどの障害を未然に防止する冷却水薬品を開発しま
した。このように、お客様の工場の生産性向上に貢献する
ことを通じて、水処理薬品の事業拡大につなげていきます。

クリタは、海外事業の拡大を推進するために必要な事業
基盤の強化にも取り組んでいきます。具体的には、海外の
市場ニーズに合致した商品の開発、水質分析・各種試験機
能の強化に加え、お客様の課題解決ニーズにきめ細かく対
応し、最適な提案ができる人材の確保・育成など、現地の
サービス力を向上させていきます。生産面では、現地パー
トナーとの連携を強化し、設計・施工・エンジニアリングと
いった水処理装置の生産能力を向上させていきます。

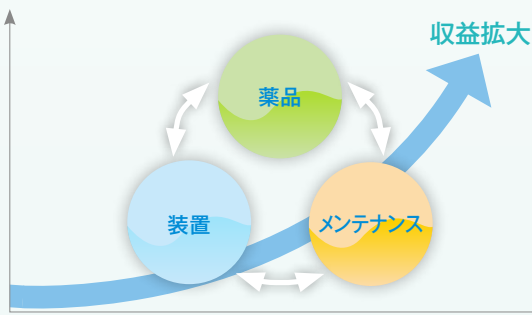
*1 NSF (NSF インターナショナル) は、公衆安全衛生に関する国際的な第三者認証機
関であり、飲料水、食品にかかわる安全衛生規格に基づく製品認証やマネジメント
システムの審査・登録などを行っています。

*2 水中の細菌や藻類などの微生物により形成された汚濁物

*3 水中に溶け込んでいる酸素による酸化などによって金属が錆びること

*4 水中に溶け込んでいるカルシウムやシリカなどが析出し、固まったもの

「薬品」「装置」「メンテナンス」による持続的収益拡大



他社にない事業推進力

クリタの強みは、「薬品」「装置」「メンテナンス」の3
つの機能をバランスよく併せ持つことです。ここから生
まれる総合力に加え、付加価値の高い商品・技術・サー
ビスを活かした提案力により、生産性向上や環境負荷
低減といったお客様の課題解決に貢献していきます。

特に、中国においては、栗田工業(大連)有限公司
(水処理薬品の製造・販売)、栗田工業(蘇州)水処理有
限公司(水処理装置の製造・販売)、栗田超純水設備(上
海)有限公司(水処理装置のメンテナンスおよび小型装
置の販売)の3つの現地法人により事業を展開していま
すが、各社の連携をより強化するために、2012年4月
にこれら3社を統括する中国統括役員を配置しました。

クリタは、この中国における取り組みを成功させ、他
の地域においても3つの機能を融合させた他社にない
事業推進力を発揮し、グローバルな成長を目指します。